



川俣小学校「学校だより」 輝くひとみ

令和2年12月18日(金) 第35号

教育目標 ☆すすんで学ぶ子ども
☆思いやりのある子ども
☆ねばり強い子ども
☆たくましい子ども

発行者 校長 本名 武

感染症対策基本の徹底



毎朝の検温やかぜ症状有無の確認等お世話になっております。さて、12月に入り県北地方を中心に新型コロナウイルス感染症確認者数が増え、福島県も感染状況がステージ2に入ったと報道される事態となりました。来週はいよいよ冬休みに入りますが、引き続き、下記の感染症予防の基本をしっかりと守り、自他の命のために、感染しない・させない取組を再度気を引き締めて徹底していきたいと思いますのでご協力のほどよろしくお願いいたします。

- ①「感染源を絶つ」(毎朝の検温、発熱・せき・だるさ等のかぜ症状の有無の確認)
- ②「感染経路を絶つ」(手洗い・手指消毒、咳エチケット、マスク着用、定期的な消毒)(密閉・密集・密接の回避、十分な換気の徹底)
- ③「抵抗力を高める」(十分な睡眠、適度な運動、バランスのとれた食事)



冬場の体力づくりに



業間時、全校で「なわとびタイム」に取り組んでいます。いろいろな技の種目跳びに挑戦したり、その跳び方を何回続けられるか自己新記録に挑戦したりしながら、巧緻性などの調整力をはじめ体力・運動能力の向上を図っています。特に、できるようになりたい「跳び方」への憧れや練習の末それができたときの喜び、達成感などは小学校時代のなわとびの大事な部分であると思います。技への憧れや記録の更新に「昨日より今日、今日より明日！」の前向きな挑戦心が3学期にかけても続くようにしたいと思います。休み中、お時間があれば、近くで回数を数えてやるだけでも子どもは意欲的となります。また、けがや無理のないように一緒にやってみるのも親子ふれあいのよい機会になると思います。感染症等に負けない免疫力アップのためにも「冬場の体力づくり」がんばらせたいと思います。



朝の雪かき隊



昨日の朝、昇降口やランチルーム西の給食車出入り口に、雪かきボランティアを行う6年生の姿がありました。おかげで全校生や学校に用事がある方々も給食配送の各車もスムーズに通ることができました。学校におけるボランティア活動の意義は、自己肯定感や社会の中で役に立つことができる「社会的有用感」、他者理解と思いやり、社会理解等々がありますが、何より大事なことは、体験を通して学ぶこと感じることです。6年生の皆さん、ありがとう！